



## 2020年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 田中 啓之 TEL 043-243-2111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月20日 配当支払開始予定日 ー  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	25,711	△2.4	4,760	△14.0	3,234	△9.7
2019年3月期中間期	26,348	3.6	5,540	11.9	3,582	△7.6

(注) 包括利益 2020年3月期中間期 8,977百万円 (18.4%) 2019年3月期中間期 7,575百万円 (35.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期中間期	52.44	16.07
2019年3月期中間期	57.60	26.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期中間期	2,847,820	180,073	6.1
2019年3月期	2,814,394	172,583	6.0

(参考) 自己資本 2020年3月期中間期 176,440百万円 2019年3月期 169,232百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、P.3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	0.7	5,600	8.0	68.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2020年3月期中間期	62,222,045株	2019年3月期	62,222,045株
2020年3月期中間期	1,545,154株	2019年3月期	14,931株
2020年3月期中間期	61,689,193株	2019年3月期中間期	62,196,963株

(個別業績の概要)

1. 2020年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	21,401	△5.0	4,291	△22.6	3,279	△14.4
2019年3月期中間期	22,532	5.2	5,549	17.4	3,833	△1.7

	1株当たり中間純利益
	円 銭
2020年3月期中間期	53.16
2019年3月期中間期	61.64

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期中間期	2,826,072	173,501	6.1
2019年3月期	2,793,404	166,413	5.9

(参考) 自己資本 2020年3月期中間期 173,431百万円 2019年3月期 166,343百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△3.4	5,500	6.8	66.95

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. 当行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項の規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2020年3月期	—	—			
2020年3月期(予想)			—	104.00	104.00

第1回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	550.00	550.00
2020年3月期	—	—			
2020年3月期(予想)			—	550.00	550.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	34.53	34.53
2020年3月期	—	—			
2020年3月期(予想)			—	900.00	900.00

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 中間連結貸借対照表	P. 3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 4
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	P. 6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
3. 中間財務諸表	P. 9
(1) 中間貸借対照表	P. 9
(2) 中間損益計算書	P. 10
(3) 中間株主資本等変動計算書	P. 11
2020年3月期第2四半期(中間期)決算補足説明資料	P. 13

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間期のわが国経済は、企業収益が底堅く、雇用環境の改善も続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊張の高まりなど不確実性が増しており、先行きは不透明な状況が続いています。当行グループが営業基盤とする千葉県は、一部に弱さがみられるものの、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善が続くなど、景気は緩やかに回復をしております。

このような金融経済環境のもと、当行は2019年4月にスタートさせた新中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2022～より近く。より深く。ともに未来へ。」に基づき、各種施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の当行グループの経営成績は、次のようになりました。

経常収益は、役員取引等収益が伸び悩むなど、前年同期比6億36百万円減少の257億11百万円となりました。経常費用は、同1億43百万円増加の209億50百万円となりました。

これらにより、経常利益は、前年同期比7億79百万円減少の47億60百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、同3億47百万円減少の32億34百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の預金残高につきましては、前連結会計年度末比183億円増加の2兆5,173億円となりました。貸出金残高につきましても、コンサルティング営業活動による資金需要の掘り起こしや、お取引先の資金ニーズに対地的確にお応えした結果、同203億円増加の2兆1,048億円となりました。また、有価証券残高は、同56億円増加の5,118億円となっております。

これらの結果、総資産は前連結会計年度末比334億円増加の2兆8,478億円、純資産は同74億円増加の1,800億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

関連会社収益の増加が見込まれることから、本年5月に公表しました連結業績予想につきまして、経常利益を2億円増加の84億円に、親会社株主に帰属する当期純利益を1億円増加の56億円に修正いたします。

なお、銀行単体におきましては、貸倒償却引当費用の増加が見込まれることから、本年5月に公表しました個別業績予想の経常利益を1億円減少の75億円に修正いたします。当期純利益につきましては、既に公表済みの55億円から変更ございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当中間連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	148,100	156,802
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	102	105
有価証券	506,188	511,812
貸出金	2,084,516	2,104,887
外国為替	2,981	2,693
その他資産	44,090	44,237
有形固定資産	20,906	20,756
無形固定資産	2,575	2,738
繰延税金資産	2,860	873
支払承諾見返	11,439	10,846
貸倒引当金	△9,463	△8,029
資産の部合計	2,814,394	2,847,820
<b>負債の部</b>		
預金	2,499,075	2,517,385
譲渡性預金	72,500	76,000
コールマネー及び売渡手形	4,440	3,238
債券貸借取引受入担保金	11,026	4,473
借入金	18,589	18,877
外国為替	65	117
その他負債	15,848	27,109
退職給付に係る負債	7,941	7,487
役員退職慰労引当金	62	56
睡眠預金払戻損失引当金	740	587
繰延税金負債	81	1,565
支払承諾	11,439	10,846
負債の部合計	2,641,811	2,667,746
<b>純資産の部</b>		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	17,798	17,802
利益剰余金	76,942	79,118
自己株式	△15	△448
株主資本合計	156,845	158,592
その他有価証券評価差額金	14,277	19,579
退職給付に係る調整累計額	△1,891	△1,732
その他の包括利益累計額合計	12,386	17,847
新株予約権	69	70
非支配株主持分	3,281	3,563
純資産の部合計	172,583	180,073
負債及び純資産の部合計	2,814,394	2,847,820

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
経常収益	26,348	25,711
資金運用収益	13,717	13,985
(うち貸出金利息)	11,026	10,776
(うち有価証券利息配当金)	2,533	3,007
役務取引等収益	5,114	4,665
その他業務収益	672	477
その他経常収益	6,843	6,583
経常費用	20,807	20,950
資金調達費用	514	387
(うち預金利息)	204	159
役務取引等費用	2,042	2,083
その他業務費用	808	12
営業経費	13,008	13,126
その他経常費用	4,434	5,341
経常利益	5,540	4,760
特別損失	38	15
固定資産処分損	38	12
減損損失	—	3
税金等調整前中間純利益	5,502	4,745
法人税、住民税及び事業税	882	264
法人税等調整額	970	1,043
法人税等合計	1,853	1,307
中間純利益	3,648	3,437
非支配株主に帰属する中間純利益	65	202
親会社株主に帰属する中間純利益	3,582	3,234

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
中間純利益	3,648	3,437
その他の包括利益	3,927	5,539
その他有価証券評価差額金	3,786	5,381
退職給付に係る調整額	140	158
中間包括利益	7,575	8,977
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,530	8,695
非支配株主に係る中間包括利益	45	281



(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	62,120	9,402	73,818	△39	145,301
当中間期変動額					
剰余金の配当			△2,059		△2,059
親会社株主に帰属する中間純利益			3,582		3,582
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△12		24	12
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	△12	1,523	24	1,534
当中間期末残高	62,120	9,390	75,341	△15	146,836

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	9,996	△1,974	8,022	59	3,237	156,621
当中間期変動額						
剰余金の配当						△2,059
親会社株主に帰属する中間純利益						3,582
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						12
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	3,807	140	3,947	△0	45	3,992
当中間期変動額合計	3,807	140	3,947	△0	45	5,526
当中間期末残高	13,804	△1,833	11,970	58	3,282	162,148

当中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	62,120	17,798	76,942	△15	156,845
当中間期変動額					
剰余金の配当			△1,059		△1,059
親会社株主に帰属する中間純利益			3,234		3,234
自己株式の取得				△440	△440
自己株式の処分		4		6	11
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	4	2,175	△433	1,747
当中間期末残高	62,120	17,802	79,118	△448	158,592

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	14,277	△1,891	12,386	69	3,281	172,583
当中間期変動額						
剰余金の配当						△1,059
親会社株主に帰属する中間純利益						3,234
自己株式の取得						△440
自己株式の処分						11
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	5,302	158	5,460	0	281	5,742
当中間期変動額合計	5,302	158	5,460	0	281	7,489
当中間期末残高	19,579	△1,732	17,847	70	3,563	180,073

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	148,095	156,769
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	102	105
有価証券	506,220	511,716
貸出金	2,087,836	2,108,276
外国為替	2,981	2,693
その他資産	18,880	18,411
その他の資産	18,880	18,411
有形固定資産	20,801	20,630
無形固定資産	2,317	2,527
繰延税金資産	1,915	—
支払承諾見返	11,439	10,846
貸倒引当金	△7,282	△6,000
資産の部合計	2,793,404	2,826,072
<b>負債の部</b>		
預金	2,510,712	2,529,484
譲渡性預金	72,500	76,000
コールマネー	4,440	3,238
債券貸借取引受入担保金	11,026	4,473
借入金	3,996	3,886
外国為替	65	117
その他負債	7,008	17,738
未払法人税等	475	240
リース債務	639	534
その他の負債	5,894	16,964
退職給付引当金	5,062	4,831
睡眠預金払戻損失引当金	740	587
繰延税金負債	—	1,365
支払承諾	11,439	10,846
負債の部合計	2,626,991	2,652,570
<b>純資産の部</b>		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	17,798	17,802
資本準備金	6,971	6,971
その他資本剰余金	10,826	10,831
利益剰余金	72,189	74,409
利益準備金	5,740	5,952
その他利益剰余金	66,448	68,457
繰越利益剰余金	66,448	68,457
自己株式	△15	△448
株主資本合計	152,092	153,884
その他有価証券評価差額金	14,250	19,547
評価・換算差額等合計	14,250	19,547
新株予約権	69	70
純資産の部合計	166,413	173,501
負債及び純資産の部合計	2,793,404	2,826,072

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
経常収益	22,532	21,401
資金運用収益	14,244	14,360
(うち貸出金利息)	11,011	10,765
(うち有価証券利息配当金)	3,074	3,394
役務取引等収益	4,630	4,168
その他業務収益	672	477
その他経常収益	2,985	2,395
経常費用	16,983	17,110
資金調達費用	462	340
(うち預金利息)	204	159
役務取引等費用	2,445	2,462
その他業務費用	808	12
営業経費	12,912	13,071
その他経常費用	354	1,223
経常利益	5,549	4,291
特別損失	38	15
税引前中間純利益	5,510	4,275
法人税、住民税及び事業税	700	30
法人税等調整額	976	966
法人税等合計	1,676	996
中間純利益	3,833	3,279

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	62,120	6,971	2,431	9,403	5,328	63,771	69,100	△39	140,583
当中間期変動額									
剰余金の配当					411	△2,471	△2,059		△2,059
中間純利益						3,833	3,833		3,833
自己株式の取得								△0	△0
自己株式の処分			△12	△12				24	12
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	—	—	△12	△12	411	1,362	1,774	24	1,786
当中間期末残高	62,120	6,971	2,418	9,390	5,740	65,133	70,874	△15	142,370

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	9,960	9,960	59	150,603
当中間期変動額				
剰余金の配当				△2,059
中間純利益				3,833
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				12
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	3,808	3,808	△0	3,807
当中間期変動額合計	3,808	3,808	△0	5,594
当中間期末残高	13,768	13,768	58	156,197

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計		
当期首残高	62,120	6,971	10,826	17,798	5,740	66,448	72,189	△15	152,092
当中間期変動額									
剰余金の配当					211	△1,271	△1,059		△1,059
中間純利益						3,279	3,279		3,279
自己株式の取得								△440	△440
自己株式の処分			4	4				6	11
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純 額)									
当中間期変動額合計	—	—	4	4	211	2,008	2,220	△433	1,791
当中間期末残高	62,120	6,971	10,831	17,802	5,952	68,457	74,409	△448	153,884

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	14,250	14,250	69	166,413
当中間期変動額				
剰余金の配当				△1,059
中間純利益				3,279
自己株式の取得				△440
自己株式の処分				11
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純 額)	5,296	5,296	0	5,296
当中間期変動額合計	5,296	5,296	0	7,088
当中間期末残高	19,547	19,547	70	173,501

2020年3月期第2四半期(中間期)  
決算補足説明資料



## 決算補足説明資料の目次

### I. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算の概要

1. 総括	【単体・連結】	.....	P.15
2. 損益の概要	【単体】	.....	P.16
3. 主要勘定の概要	【単体】	.....	P.18
4. 健全性の概要	【単体・連結】	.....	P.19
～参考～ 人員・店舗の状況	【単体】	.....	P.19

### II. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算資料

1. 損益の状況	【単体・連結】	.....	P.20
2. 業務純益	【単体】	.....	P.22
3. 利回・利鞘(国内業務部門)	【単体】	.....	P.22
4. 有価証券関係損益	【単体】	.....	P.22
5. 有価証券評価損益	【単体・連結】	.....	P.23
6. 自己資本比率(国内基準)	【単体・連結】	.....	P.23
7. ROE・OHR・ROA	【単体】	.....	P.24
8. リスク管理債権の状況	【単体・連結】	.....	P.25
9. 貸倒引当金等の状況	【単体・連結】	.....	P.26
10. 金融再生法開示債権の状況	【単体】	.....	P.26
資産内容の開示における各種基準の比較	【単体】	.....	P.27
11. 預金、貸出金、預り資産の状況	【単体】	.....	P.28
12. 業種別貸出状況等	【単体】	.....	P.29

### III. 2020年3月期業績見通し

1. 業績予想	【単体・連結】	.....	P.30
2. 配当金予想		.....	P.30

(注)本補足説明資料における各計数は単位未満切捨て表示のため、前年同期比等の数字は表中計算と合致しない場合があります。

## I. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算の概要

### 1. 総括

#### 【単体】

##### 経常収益

経常収益は、前年同期比 11 億 30 百万円減少の 214 億 1 百万円となりました。

##### 経常利益

経常利益は、前年同期比 12 億 57 百万円減少の 42 億 91 百万円となりました。

なお、この数値は、2019 年5月に公表しました業績予想(39 億円)を上回っております。(達成率 110.0%)

##### 中間純利益

中間純利益は、前年同期比5億 54 百万円減少の 32 億 79 百万円となりました。

なお、この数値は、2019 年5月に公表しました業績予想(29 億円)を上回っております。(達成率 113.0%)

(単位:百万円、%)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期		2019年3月期 中間期	2020年3月期 (予想)	予想に対する 進捗率
		中間期比	(増減率)			
経常収益	21,401	△1,130	(△5.0)	22,532	—	—
経常利益	4,291	△1,257	(△22.6)	5,549	7,500	57.2
当期(中間)純利益	3,279	△554	(△14.4)	3,833	5,500	59.6

#### 【連結】

##### 経常収益

連結経常収益は、前年同期比6億 36 百万円減少の 257 億 11 百万円となりました。

##### 経常利益

連結経常利益は、前年同期比7億 79 百万円減少の 47 億 60 百万円となりました。

なお、この数値は、2019 年5月に公表しました業績予想(40 億円)を上回っております。(達成率 119.0%)

##### 親会社株主に帰属する中間純利益

親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比3億 47 百万円減少の 32 億 34 百万円となりました。

なお、この数値は、2019 年5月に公表しました業績予想(27 億円)を上回っております。(達成率 119.8%)

(単位:百万円、%)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期		2019年3月期 中間期	2020年3月期 (予想)	予想に対する 進捗率
		中間期比	(増減率)			
経常収益	25,711	△636	(△2.4)	26,348	—	—
経常利益	4,760	△779	(△14.0)	5,540	8,400	56.6
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	3,234	△347	(△9.7)	3,582	5,600	57.7

## 2. 損益の概要【単 体】

### (1)業務純益

#### 業務粗利益

貸出金利息は前年同期比減少となりましたが、有価証券利息配当金が増加したことから、資金利益は同2億38百万円の増加となりました。役務取引等利益は預り資産販売手数料が伸び悩んだこと等から同4億79百万円の減少、その他業務利益は国債等債券関係損益の改善により同6億円の増加となりました。

これらにより業務粗利益は同3億59百万円増加の161億90百万円となりました。

#### 経費

経費は、税金負担が減少する一方、人件費、物件費がともに増加したため、前年同期比1億34百万円増加の128億29百万円となりました。

#### 業務純益等

業務粗利益から経費を差引いた業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は、前年同期比2億25百万円増加の33億61百万円となりました。業務純益(一般貸倒引当金繰入前)から国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は、同3億73百万円減少の32億79百万円となっております。

なお、当期の一般貸倒引当金繰入額は戻入となっているため、業務純益は、一般貸倒引当金繰入前の業務純益と同額となっております。

(単位:百万円、%)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期 中間期比	(増減率)	2019年3月期 中間期
業務粗利益	16,190	359	(2.2)	15,830
資金利益	14,019	238		13,781
役務取引等利益	1,705	△479		2,185
その他業務利益	465	600		△135
うち国債等債券関係損益	81	599		△518
経費(除く臨時処理分) (△)	12,829	134	(1.0)	12,695
人件費 (△)	6,103	95		6,007
物件費 (△)	5,860	93		5,767
税金 (△)	865	△54		920
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,361	225	(7.2)	3,135
コア業務純益 ※	3,279	△373		3,653
除く投資信託解約損益	2,405	△965		3,370
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—		—
業務純益	3,361	225	(7.2)	3,135

※コア業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)－国債等債券関係損益

(2)経常利益・中間純利益

経常利益

お取引先企業の経営改善支援へ積極的に取組み、自己査定による厳格な償却引当を実施した結果、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計が取崩超過となり、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

前述の貸倒引当金戻入益は9億 69 百万円計上しておりますが、前年同期比では 11 億 19 百万円の減少、株式等関係損益も同 10 億 90 百万円の減少となっております。その結果、償却債権取立益を 10 億 47 百万円計上したものの、経常利益は同 12 億 57 百万円減少の 42 億 91 百万円となりました。

中間純利益

法人税等合計が前年同期比6億 80 百万円減少し、中間純利益は同5億 54 百万円減少の 32 億 79 百万円となりました。

なお、実質信用コストは前年同期と同様にマイナスであり、与信関連費用は引続き抑制が効いております。

(単位:百万円、%)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期 中間期比	(増減率)	2019年3月期 中間期
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,361	225	(7.2)	3,135
一般貸倒引当金繰入額 (△)	┌(△1,538)	(698)		┌(△2,237)
業務純益	3,361	225	(7.2)	3,135
臨時損益	930	△1,483		2,413
うち不良債権処理額 ① (△)	438	149		288
うち貸出金償却 (△)	385	163		221
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	┌(569)	(421)		┌(147)
うち貸倒引当金戻入益 ②	└969	△1,119		└2,089
うち償却債権取立益 ③	1,047	889		157
うち株式等関係損益	△544	△1,090		546
経常利益	4,291	△1,257	(△22.6)	5,549
特別損益	△15	22		△38
税引前中間純利益	4,275	△1,234		5,510
法人税等合計	996	△680		1,676
中間純利益	3,279	△554	(△14.4)	3,833

貸倒償却引当費用 ①-② (△)	△531	1,269		△1,800
実質信用コスト ①-②-③ (△)	△1,578	380		△1,958

(注)2020年3月期中間期および2019年3月期中間期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

### 3. 主要勘定の概要【単 体】

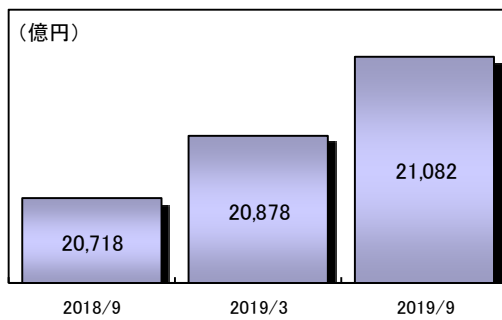
#### (1) 貸出金の残高

- ・貸出金残高は、前年同期比 364 億円増加の2兆 1,082 億円(年間増加率 1.7%)となりました。
- ・このうち住宅ローン残高は、ご好評をいただいている「ガン保障付住宅ローン」などが好調に推移し、前年同期比 308 億円増加の 8,094 億円(年間増加率 3.9%)となりました。
- ・中小企業向け貸出と個人向け貸出を合計した中小企業等貸出残高は、当行の持つコンサルティング機能を発揮し、お客さまの資金ニーズに対して積極的にお応えをした結果、前年同期比 330 億円増加の1兆 8,200 億円(年間増加率 1.8%)となっております。

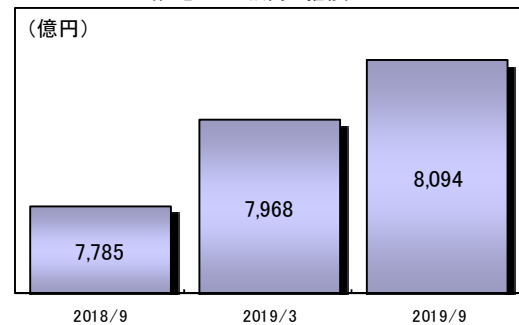
(単位:億円、%)

	2019年9月末	2019年3月末比		2019年3月末	2018年9月末
			2018年9月末比		
貸出金	21,082	204	364	20,878	20,718
うち住宅ローン	8,094	126	308	7,968	7,785
うち中小企業向け	10,158	△40	30	10,199	10,128
中小企業等貸出	18,200	53	330	18,146	17,869

〔貸出金残高の推移〕



〔住宅ローン残高の推移〕



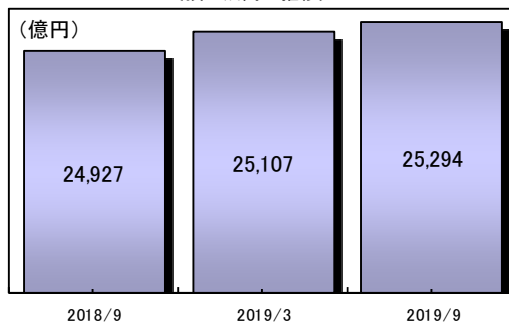
#### (2) 預金・預り資産の残高

- ・預金残高は、前年同期比 367 億円増加の2兆 5,294 億円(年間増加率 1.4%)となりました。
- ・このうち、預金の大半を占める個人預金残高は、前年同期比 135 億円増加の1兆 9,002 億円となりました。
- ・預り資産の残高は、投資信託が前年同期比 133 億円の減少となりましたが、年金保険等は同 213 億円増加となり順調に推移しております。

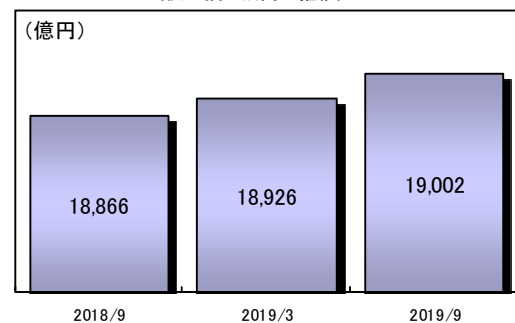
(単位:億円、%)

	2019年9月末	2019年3月末比		2019年3月末	2018年9月末
			2018年9月末比		
預金	25,294	187	367	25,107	24,927
うち個人預金	19,002	75	135	18,926	18,866
譲渡性預金	760	35	110	725	650
投資信託	1,097	△33	△133	1,130	1,231
年金保険等	2,162	78	213	2,083	1,948

〔預金残高の推移〕



〔個人預金残高の推移〕



#### 4. 健全性の概要

##### (1)自己資本比率(国内基準)

・自己資本比率は、利益の計上により、分子にあたる自己資本を着実に積上げておりますが、順調な貸出金の増加を背景に、分母にあたるリスクアセット(資産)も増加しております。これにより、2019年9月末における銀行単体の自己資本比率は、2019年3月末比0.01ポイント低下の8.57%となりました。また、連結の自己資本比率は2019年3月末比横ばいの8.71%となっております。

##### 【単体】

(単位:%、ポイント)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比			
自己資本比率	8.57	△0.01	0.31	8.58	8.26

##### 【連結】

(単位:%、ポイント)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比			
自己資本比率	8.71	0.00	0.29	8.71	8.42

##### (2)不良債権【単体】

・金融再生法ベースのカテゴリによる開示債権額は、2019年3月末並みの308億円となりました。また、総与信残高に占める開示債権額の割合(開示債権比率)も、横ばいの1.43%となっております。

##### 「金融再生法による開示債権比率(正常債権を除く)」

(単位:億円、%)

	2019年9月末			2019年3月末	2018年9月末
	2019年3月末比	2018年9月末比			
開示債権比率	1.43	△0.00	△0.01	1.44	1.44
開示債権残高	308	0	2	307	305

#### ～参考～

##### 人員・店舗の状況【単体】

##### (1)人員の推移

(単位:人)

	2019年9月末		2019年3月末
	2019年3月末比		
総人員	1,401	45	1,356
実働人員	1,345	48	1,297

(注)総人員には、出向者を含み臨時雇員及び嘱託を含んでおりません。総人員から出向者を除いたものを実働人員としております。

##### (2)店舗の推移

(単位:店)

	2019年9月末		2019年3月末
	2019年3月末比		
本支店	74	0	74
出張所	0	0	0
店舗数	74	0	74

(注)県外店舗につきましては、東京支店、西葛西支店の2カ店となります。

## Ⅱ. 2020年3月期第2四半期(中間期)決算資料

### 1. 損益の状況

【単体】

(単位:百万円)

	2020年3月期		2019年3月期 中間期
	中間期	2019年3月期中間期比	
業 務 粗 利 益 (除く国債等債券関係損益)	16,190 (16,109)	359 (△239)	15,830 (16,349)
国内業務粗利益 (除く国債等債券関係損益)	15,682 (15,640)	△140 (△220)	15,823 (15,860)
資 金 利 益	13,759	262	13,496
役 務 取 引 等 利 益	1,719	△482	2,201
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券関係損益)	203 (42)	79 (79)	124 (△37)
国際業務粗利益 (除く国債等債券関係損益)	508 (468)	500 (△19)	7 (488)
資 金 利 益	260	△24	284
役 務 取 引 等 利 益	△13	3	△16
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券関係損益)	261 (39)	521 (520)	△260 (△480)
経 費 (除く臨時処理分) (△)	12,829	134	12,695
人 件 費 (△)	6,103	95	6,007
物 件 費 (△)	5,860	93	5,767
税 金 (△)	865	△54	920
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,361	225	3,135
コア業務純益※	3,279	△373	3,653
除く投資信託解約損益	2,405	△965	3,370
一般貸倒引当金繰入額 (△)	(△1,538)	(698)	(△2,237)
業 務 純 益	3,361	225	3,135
うち国債等債券関係損益	81	599	△518
臨 時 損 益	930	△1,483	2,413
不良債権処理額① (△)	438	149	288
貸 出 金 償 却 (△)	385	163	221
個別貸倒引当金繰入額 (△)	— (569)	(421)	— (147)
信用保証協会責任共有制度負担金 (△)	52	△11	64
その他の債権売却損等 (△)	—	△1	1
貸倒引当金戻入益②	969	△1,119	2,089
(貸倒償却引当費用①－②) (△)	(△531)	(1,269)	(△1,800)
償 却 債 権 取 立 益	1,047	889	157
株 式 等 関 係 損 益	△544	△1,090	546
そ の 他 臨 時 損 益	△103	△12	△90
経 常 利 益	4,291	△1,257	5,549
特 別 損 益	△15	22	△38
うち固定資産処分損益	△12	26	△38
固 定 資 産 処 分 益	—	—	—
固 定 資 産 処 分 損 (△)	12	△26	38
税 引 前 中 間 純 利 益	4,275	△1,234	5,510
法人税、住民税及び事業税 (△)	30	△670	700
法 人 税 等 調 整 額 (△)	966	△10	976
法 人 税 等 合 計 (△)	996	△680	1,676
中 間 純 利 益	3,279	△554	3,833

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2020年3月期中間期および2019年3月期中間期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

※コア業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)－国債等債券関係損益

【連結】

(単位:百万円)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期中間期比	2019年3月期 中間期
連結業務粗利益	16,644	504	16,139
資金利益	13,597	393	13,203
役務取引等利益	2,581	△489	3,071
その他業務利益	465	600	△135
営業経費(△)	13,126	118	13,008
貸倒償却引当費用(△)	△599	1,017	△1,617
貸出金償却(△)	385	163	221
個別貸倒引当金繰入額(△)	(456)	(157)	(299)
一般貸倒引当金繰入額(△)	(△1,500)	(710)	(△2,210)
信用保証協会責任共有制度負担金(△)	52	△11	64
その他の債権売却損等(△)	6	△1	7
貸倒引当金戻入益	1,043	△867	1,911
償却債権取立益	1,047	889	158
株式等関係損益	△544	△1,090	546
持分法による投資損益	—	—	—
その他	140	53	87
経常利益	4,760	△779	5,540
特別損益	△15	22	△38
税金等調整前中間純利益	4,745	△756	5,502
法人税、住民税及び事業税(△)	264	△618	882
法人税等調整額(△)	1,043	72	970
法人税等合計(△)	1,307	△545	1,853
中間純利益	3,437	△211	3,648
非支配株主に帰属する中間純利益(△)	202	136	65
親会社株主に帰属する中間純利益	3,234	△347	3,582

- (注)1. 連結業務粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)  
+ (その他業務収益-その他業務費用)
2. 2020年3月期中間期および2019年3月期中間期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(連結対象会社数)

(単位:社)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期中間期比	2019年3月期 中間期
連結子会社数	4	0	4
持分法適用会社数	0	0	0



## 2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期中間期比	2019年3月期 中間期
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,361	225	3,135
職員一人当たり(千円)	2,432	165	2,267
コア業務純益 ※	3,279	△373	3,653
職員一人当たり(千円)	2,373	△268	2,641
業務純益	3,361	225	3,135
職員一人当たり(千円)	2,432	165	2,267

(注)職員数は、期中平均人員(出向者、臨時雇員及び嘱託を除く)を使用しています。

※コア業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)－国債等債券関係損益

## 3. 利回・利鞘(国内業務部門)【単体】

(単位:%)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期中間期比	2019年3月期 中間期
資金運用利回 A	1.02	△0.00	1.02
貸出金利回	1.03	△0.03	1.06
有価証券利回	1.45	0.17	1.27
資金調達原価 B	0.97	△0.01	0.98
預金等利回	0.01	△0.00	0.01
経費率	0.97	△0.01	0.98
預貸金利鞘	0.04	△0.02	0.07
総資金利鞘 A-B	0.05	0.00	0.04

## 4. 有価証券関係損益【単体】

### (1)国債等債券関係損益

(単位:百万円)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期中間期比	2019年3月期 中間期
国債等債券関係損益	81	599	△518
売却益	93	△196	289
償還益	—	—	—
売却損 (△)	0	△498	498
償還損 (△)	12	△297	310
償却 (△)	—	—	—

### (2)株式等関係損益

(単位:百万円)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期中間期比	2019年3月期 中間期
株式等関係損益	△544	△1,090	546
売却益	218	△367	585
売却損 (△)	762	723	39
償却 (△)	0	0	—

## 5. 有価証券評価損益

【単体】

(単位:百万円)

	2019年9月末					2019年3月末			2018年9月末		
	評価 損益	3月末比		評価益	評価損	評価 損益	評価益	評価損	評価 損益	評価益	評価損
		3月末比	9月末比								
満期保有目的	291	32	75	296	4	259	265	6	216	232	16
その他有価証券	27,271	7,611	8,388	29,207	1,936	19,660	23,282	3,622	18,883	25,015	6,132
株式	17,257	△378	△5,352	18,262	1,005	17,635	18,502	866	22,610	22,887	277
債券	2,259	416	2,214	2,266	6	1,843	1,858	14	45	567	521
その他	7,754	7,573	11,526	8,679	924	180	2,921	2,740	△3,772	1,561	5,333
合計	27,562	7,643	8,463	29,504	1,941	19,919	23,548	3,628	19,099	25,248	6,149

【連結】

(単位:百万円)

	2019年9月末					2019年3月末			2018年9月末		
	評価 損益	3月末比		評価益	評価損	評価 損益	評価益	評価損	評価 損益	評価益	評価損
		3月末比	9月末比								
満期保有目的	291	32	75	296	4	259	265	6	216	232	16
その他有価証券	28,001	7,739	8,333	29,937	1,936	20,261	23,883	3,622	19,667	25,800	6,132
株式	17,986	△250	△5,407	18,992	1,005	18,237	19,104	866	23,394	23,671	277
債券	2,259	416	2,214	2,266	6	1,843	1,858	14	45	567	521
その他	7,754	7,573	11,526	8,679	924	180	2,921	2,740	△3,772	1,561	5,333
合計	28,292	7,771	8,408	30,233	1,941	20,520	24,149	3,628	19,883	26,033	6,149

## 6. 自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(2006年金融庁告示第19号)に定められた算式に基づき、連結ベースと単体ベースの双方について算出しております。

【単体】

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
(1)自己資本比率(%)	8.57	△0.01	0.31	8.58	8.26
(2)コア資本に係る基礎項目	155,754	1,312	10,309	154,442	145,445
(3)コア資本に係る調整項目	2,881	699	963	2,182	1,917
(4)自己資本 (2)-(3)	152,873	613	9,345	152,259	143,527
(5)リスクアセット	1,783,808	9,731	47,464	1,774,077	1,736,344

【連結】

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
(1)自己資本比率(%)	8.71	0.00	0.29	8.71	8.42
(2)コア資本に係る基礎項目	160,706	1,581	10,223	159,125	150,483
(3)コア資本に係る調整項目	3,034	667	926	2,366	2,107
(4)自己資本 (2)-(3)	157,672	913	9,296	156,758	148,375
(5)リスクアセット	1,809,710	10,024	49,582	1,799,685	1,760,128

## 7. ROE・OHR・ROA【単体】

### (1)ROE

(単位:%)

ROE(株主資本利益率)	2020年3月期		2019年3月期 中間期
	中間期	2019年3月期中間期比	
コア業務純益ベース ※1	4.27	△0.89	5.16
業務純益ベース ※2	4.38	△0.05	4.43
中間純利益ベース ※3	4.27	△1.14	5.42

※1[コア業務純益/(純資産の部合計平残-新株予約権平残)]×365/183×100

※2[業務純益/(純資産の部合計平残-新株予約権平残)]×365/183×100

※3[中間純利益/(純資産の部合計平残-新株予約権平残)]×365/183×100

値が大きいほど株主資本の「収益性」の高さを示します。

### (2)OHR

(単位:%)

OHR(経費対業務粗利益率)	2020年3月期		2019年3月期 中間期
	中間期	2019年3月期中間期比	
コアOHR ※	79.64	1.98	77.65

※[経費/業務粗利益(除く国債等債券関係損益)]×100

値が小さいほど経営の「効率性」の高さを示します。

### (3)ROA

(単位:%)

ROA(総資産利益率)	2020年3月期		2019年3月期 中間期
	中間期	2019年3月期中間期比	
コア業務純益ベース ※1	0.23	△0.03	0.26
業務純益ベース ※2	0.23	0.01	0.22
中間純利益ベース ※3	0.23	△0.04	0.27

※1[コア業務純益/総資産期中平残(除く支払承諾見返)]×365/183×100

※2[業務純益/総資産期中平残(除く支払承諾見返)]×365/183×100

※3[中間純利益/総資産期中平残(除く支払承諾見返)]×365/183×100

値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示します。

## 8. リスク管理債権の状況

- 部分直接償却：実施後  
 ○未収利息不計上基準：自己査定に基づく債務者区分による

### 【単 体】 (単位：百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
リスク管理債権額 ①	30,598	4	233	30,594	30,365
破綻先債権額	652	525	424	127	227
延滞債権額	27,237	△226	△46	27,463	27,284
3ヵ月以上延滞債権額	3	△23	△2	27	5
貸出条件緩和債権額	2,705	△271	△142	2,976	2,847
貸出金残高(末残) ②	2,108,276	20,440	36,427	2,087,836	2,071,848

(単位：%)

貸出金残高比 ①/②	1.45	△0.01	△0.01	1.46	1.46
破綻先債権額	0.03	0.02	0.01	0.00	0.01
延滞債権額	1.29	△0.02	△0.02	1.31	1.31
3ヵ月以上延滞債権額	0.00	△0.00	△0.00	0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.12	△0.01	△0.00	0.14	0.13

(単位：百万円、%)

担保・保証等回収可能額 ③	23,960	300	116	23,660	23,843
貸倒引当金 ④	3,536	110	244	3,426	3,291
引当率 ④/(①-③)	53.27	3.86	2.80	49.41	50.47
カバー率 (③+④)/①	89.86	1.32	0.50	88.53	89.36

### 【連 結】 (単位：百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
リスク管理債権額 ①	31,534	△102	213	31,636	31,320
破綻先債権額	756	497	416	258	339
延滞債権額	28,068	△305	△57	28,374	28,126
3ヵ月以上延滞債権額	3	△23	△2	27	5
貸出条件緩和債権額	2,705	△271	△142	2,977	2,848
貸出金残高(末残) ②	2,104,887	20,371	37,088	2,084,516	2,067,799

(単位：%)

貸出金残高比 ①/②	1.49	△0.01	△0.01	1.51	1.51
破綻先債権額	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01
延滞債権額	1.33	△0.02	△0.02	1.36	1.36
3ヵ月以上延滞債権額	0.00	△0.00	△0.00	0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.12	△0.01	△0.00	0.14	0.13

(単位：百万円、%)

担保・保証等回収可能額 ③	24,384	193	48	24,191	24,335
貸倒引当金 ④	4,047	110	293	3,937	3,753
引当率 ④/(①-③)	56.60	3.72	2.86	52.87	53.74
カバー率 (③+④)/①	90.16	1.25	0.47	88.91	89.68

## 9. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
貸倒引当金	6,000	△1,282	△831	7,282	6,831
一般貸倒引当金	1,800	△1,538	△1,215	3,338	3,016
個別貸倒引当金	4,200	256	384	3,944	3,815
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

【連結】

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
貸倒引当金	8,029	△1,433	△970	9,463	8,999
一般貸倒引当金	2,219	△1,485	△1,156	3,705	3,375
個別貸倒引当金	5,810	51	186	5,758	5,623
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

## 10. 金融再生法開示債権の状況【単体】

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,073	1,111	680	4,962	5,392
危険債権	22,055	△765	△256	22,820	22,311
要管理債権	2,708	△294	△144	3,003	2,853
小計 ①	30,837	51	279	30,786	30,558
正常債権	2,123,273	18,218	34,279	2,105,054	2,088,993
総与信残高 ②	2,154,110	18,269	34,559	2,135,840	2,119,551

(単位:%)

総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.28	0.04	0.02	0.23	0.25
	危険債権	1.02	△0.04	△0.02	1.06	1.05
	要管理債権	0.12	△0.01	△0.00	0.14	0.13
	小計 ①/②	1.43	△0.00	△0.01	1.44	1.44
	正常債権	98.56	0.00	0.01	98.55	98.55

(単位:百万円)

保全額 ③	27,726	457	407	27,269	27,318
担保保証等	24,020	299	113	23,721	23,907
貸倒引当金	3,706	157	294	3,548	3,411

(単位:%)

カバー率 ③/①	89.91	1.33	0.51	88.57	89.40
----------	-------	------	------	-------	-------

資産内容の開示における各種基準の比較

自己査定における債務者区分 (対象:総与信)		金融再生法に基づく開示債権 (対象:総与信)		リスク管理債権 (対象:貸出金)
		うち貸出金		
破綻先 6 億円		破産更生債権及 びこれらに準ずる 債権 60 億円	6 億円	破綻先債権 6 億円
実質破綻先 54 億円			58 億円	51 億円
破綻懸念先 231 億円		危険債権 220 億円	220 億円	3ヵ月以上延滞債権 0 億円
要注意先 980 億円	要管理先 31 億円	要管理債権 27 億円 <small>(注)要管理債権は貸出金のみ</small>	0 億円	貸出条件緩和債権 27 億円
	要管理先以外の 要注意先 948 億円		27 億円	
正常先 20,268 億円		小計 308 億円	小計 305 億円	合計 305 億円
		正常債権 21,232 億円	20,776 億円	
合計 21,541 億円		合計 21,541 億円	合計 21,082 億円	

## 11. 預金、貸出金、預り資産の状況【単 体】

### (1) 預金・貸出金残高

(単位:百万円)

	2020年3月期 中間期	2019年3月期比	2019年3月期 中間期比	2019年3月期	2019年3月期 中間期
預金(末残)	2,529,484	18,772	36,778	2,510,712	2,492,705
うち県内	2,504,093	19,141	35,611	2,484,951	2,468,482
預金(平残)	2,526,565	42,164	53,791	2,484,400	2,472,773
うち県内	2,502,647	40,272	51,232	2,462,374	2,451,415
貸出金(末残)	2,108,276	20,440	36,427	2,087,836	2,071,848
うち県内	2,022,848	18,159	32,206	2,004,689	1,990,642
貸出金(平残)	2,075,484	15,345	30,866	2,060,139	2,044,618
うち県内	1,992,539	13,755	27,926	1,978,784	1,964,612

### (2) 中小企業等貸出残高

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
中小企業等貸出残高	1,820,009	5,310	33,042	1,814,698	1,786,966
中小企業向け	1,015,886	△4,017	3,086	1,019,903	1,012,800
うち県内	968,996	△5,614	1,582	974,611	967,414
個人向け	804,122	9,328	29,956	794,794	774,166
うち県内	767,812	7,926	26,308	759,886	741,504

(注)「(2)中小企業等貸出残高」には、次項「(3)消費者ローン残高」が含まれております。

### (3) 消費者ローン残高

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
消費者ローン残高	832,025	13,127	32,510	818,897	799,514
住宅ローン	809,441	12,610	30,867	796,830	778,574
その他のローン	22,584	516	1,643	22,067	20,940

### (4) 預金・貸出金比率

(単位:%)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
県内預金比率(末残)	98.99	0.02	△0.03	98.97	99.02
県内貸出金比率(末残)	95.94	△0.06	△0.13	96.01	96.08
中小企業等貸出比率	86.32	△0.59	0.07	86.91	86.24
中小企業向け比率	48.18	△0.66	△0.69	48.84	48.88
個人向け比率	38.14	0.07	0.77	38.06	37.36

### (5) 預り資産残高

(単位:億円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
公共債	126	△7	△11	134	138
投資信託	1,097	△33	△133	1,130	1,231
外貨預金	80	△6	△4	87	85
年金保険等	2,162	78	213	2,083	1,948

(注)上記における「県内」の計数は、千葉県内店舗の合計計数で記載しております。

## 12. 業種別貸出状況等【単 体】

### (1)業種別貸出金

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,108,276	20,440	36,427	2,087,836	2,071,848
製造業	145,911	△1,318	△1,333	147,229	147,245
農業、林業	7,539	△468	△2	8,008	7,542
漁業	585	41	△15	543	601
鉱業、採石業、砂利採取業	3,703	511	387	3,191	3,315
建設業	102,561	62	3,136	102,499	99,424
電気・ガス・熱供給・水道業	6,123	△716	△1,492	6,839	7,615
情報通信業	7,431	405	230	7,026	7,201
運輸業、郵便業	64,241	△888	△4,736	65,130	68,978
卸売業、小売業	171,794	3,901	478	167,892	171,315
金融業、保険業	55,478	△7,267	△12,517	62,745	67,995
不動産業、物品賃貸業	496,076	4,837	9,127	491,238	486,949
各種サービス業	192,073	△1,805	△225	193,878	192,299
地方公共団体	50,633	13,816	13,436	36,817	37,197
その他	804,122	9,328	29,956	794,794	774,166

### (2)業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	2019年9月末	2019年3月末比	2018年9月末比	2019年3月末	2018年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	30,598	4	233	30,594	30,365
製造業	3,468	419	257	3,049	3,211
農業、林業	35	△117	△119	153	155
漁業	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	5,132	702	1,262	4,429	3,869
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	18	△3	△9	22	28
運輸業、郵便業	1,456	△94	83	1,550	1,373
卸売業、小売業	5,040	△2	66	5,043	4,973
金融業、保険業	38	△4	△18	42	57
不動産業、物品賃貸業	4,964	△127	△77	5,092	5,042
各種サービス業	5,689	△465	△946	6,155	6,636
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	4,753	△301	△264	5,054	5,017



### Ⅲ. 2020年3月期業績見通し

#### 1. 業績予想

【単体】

(単位:億円)

	2020年3月期 予想		2019年3月期 実績
		前期比	
業務粗利益	330	11	318
経費 (△)	255	4	251
コア業務純益 ※	73	△3	77
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	74	7	67
経常利益	75	△2	77
当期純利益	55	3	51
貸倒償却引当費用 (△)	△3	△1	△1

※コア業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)－国債等債券関係損益

【連結】

(単位:億円)

	2020年3月期 予想		2019年3月期 実績
		前期比	
経常利益	84	0	83
親会社株主に帰属する当期純利益	56	4	51

#### 2. 配当金予想

	2020年3月期 予想		2019年3月期 実績
		前期比	
普通株式	3円00銭	0円00銭	3円00銭
第二種優先株式	104円00銭	0円00銭	104円00銭
第1回第六種優先株式	550円00銭	0円00銭	550円00銭
第1回第七種優先株式	900円00銭	865円47銭	34円53銭